



マスコットキャラクター  
バサル



©Oita Sports Project Inc.

2006年に九州フットサルリーグ優勝。2007年に発足した日本フットサルリーグ(Fリーグ)へ加盟し、初年度は6位の成績を残した。2018年には将来的な選手育成を目的とした下部組織「サテライト」「U-18」「U-15」を設立。フットサルを通して、活気あるまちづくりに貢献している。

### 今後のバサジ大分に期待!

2018シーズンから2部制を導入するにあたって新設されるFリーグディビジョン1(F1)へ参加することが決定。それに伴い、来シーズンは伊藤雅範監督が3年ぶりにバサジ大分の指揮を執ります。伊藤監督が就任し迎えた2013年度は、準優勝という成績を残しました。また、下部組織の「サテライト」「U-18」に館山マリオ監督(2008-12バサジ大分監督)、「U-15」に吉武茂郎監督(バサジ大分前監督)が就任。大分のホームタウンとして戦うチームを、みんなで応援しましょう。



©Oita Sports Project Inc.

伊藤 雅範 監督



©Oita Sports Project Inc.

館山 マリオ 監督



©Oita Sports Project Inc.

吉武 茂郎 監督

### 大分市プロスポーツふれあい促進事業

スポーツが生活に溶け込んだ活気のある魅力的なまちづくりを目的とした「大分市プロスポーツふれあい促進事業」。バサジ大分では、選手が幼稚園や小学校に訪問し、フットサルを取り入れたメニューで楽しく体を動かします。小学校の授業後は、子どもたちと一緒に給食を食べたりすることも…。



©Oita Sports Project Inc.

©Oita Sports Project Inc.

☎ スポーツ振興課 ☎537-5650



### ホームゲームレポート

2月24日・25日、コンパルホールで2017/18シーズンのホームゲームが行われました。

25日はVC長野トライデンツと対戦。安定したサーブレシーブから攻撃を組み立て、第1セットを取ります。2セット目は相手のサーブに崩されリードを許すものの、終盤、ピンチサーバーとして起用された島崎・石橋選手の活躍で流れをつかみ、デュースの末、このセットを奪います。第3セットは取られましたが、第4セットはブロックやサービスエースで流れをつかみ、試合終了。セットカウント3-1で勝利しました。

また、この日は7年間チームを支え、今シーズンキャプテンを務めた石垣公也選手のラストゲーム。試合終了後、ファンへの感謝の言葉を伝えると、会場から大きな拍手が送られました。



### 気になる! 三好の応援団長

ホームゲームを盛り上げる大分三好ヴァイセアドラーの応援。10年以上応援団長を務める清水さんは、選手と一緒に病院で働く職員です。「目立つのは苦手ですが最初は緊張していました。でも、チーム愛があるから頑張れる。」と話す清水さん。目標は、明るく、ファンの人を巻き込みながら一生懸命チームを応援することだそうです。バレーが好きなのが繋がり、より多くの人に会場へ来てほしいと話していました。



## 地元のチームで頑張るといふこと

バレーボールチーム「大分三好ヴァイセアドラー」は、1994年に三好内科・循環器科医院開業と同時に正式創部されました。チームには、病院で看護師や事務職員として働きながら、日々練習を重ねている選手がいます。仕事とバレーボールを両立しながら戦う選手の中から、大分市出身の島崎征士郎選手にお話を伺いました。



島崎選手は、大友宗麟に扮し、大分市のプロモーションにも参加しました。



### 島崎 征士郎 選手

1990年11月7日生まれ。大分工業高校卒業後、山口県の東亜大学へ。大分三好ヴァイセアドラーに入団し、チームで唯一の地元出身選手として活躍している。



### 大分のために、チームのために、自分の限界に挑戦する日々

小学2年生から高校まで大分でバレーをしていたので、ホームゲームなどでは恩師や友達が駆け付けてくれたり、地元ファンの皆さんの温かい声援がとても励みになっていきます。

大学卒業後、いずれは人と向き合う仕事をしたいという思いがあったので、入団して最初の2年間はバレーのスキルを磨きつつ、病院という現場で経験を積みました。3年目からは准看護師の資格を取るという目標を自分自身に課し、学校に通い始めましたが、チームとの両立が難しく、引退を考えたことも。そんな時、監督から「チームのために何ができるかを考えなさい」と声をかけてもらい、

### 次リーグもチーム一丸となって戦い抜く

三好はまだまだ強くなれる可能性を秘めたチームです。プロである以上、ファンに楽しんでもらえるゲームを求められますが、自分が出場するだけで喜んでくれる地元ファンの皆さんへ、格上のチーム相手でも一生懸命戦う情熱を伝えたい。ホームゲームも増えるので、ぜひ生のプレーを見に来てください!

